

令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人 グリーンリボン推進協会

I 事業期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

II 事業の成果

我が国における臓器移植の状況は、令和元年は、脳死下臓器提供が98例、心停止下臓器提供と併せて126例（29例増）となり、臓器移植総数480例とともに日本臓器移植ネットワーク発足以来、最多となった。しかし令和2年は、1月から始まった新型コロナウイルス感染拡大が一番大きな原因と思われるが、脳死下臓器提供69例、心停止下臓器提供と併せて78例（48例減）と大きく減少し、2010年の改正法施行後では、2014年（77例）に次いで少なくなった。ワクチンが普及し、社会が落ち着いてくると思われる2021年の秋以降の動向を注視し、他に原因がないか見極める必要があると思われる。今後どのように変化するかは、分からないが引き続き全国的な臓器移植の普及啓発活動により、国民の理解を広げ、社会の意識を高めることが重要である。当協会の設立目的は、市民による臓器移植の普及啓発活動であり、当協会も、より一層の役割が求められている。

当協会は結成以来4年間、様々な活動を通じ、移植関係においては、知名度も少しずつ上がってきた。

ただ令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止を図った上、実施できる活動に絞った。人が一箇所に集まる3密となるイベントは、中止せざるを得ずメディアワークショップは、東京と大阪を合同しWEB会議で実施した。参加者は、メディア17名、その他10名と多くの参加があり、今後の開催はリアルとWEBでの配信を同時に行うことが必要と思われる。

移植医療定期勉強会「みんなと学ぼうグリーンリボン」もWEBによる開催を模索したが、結果として開催に至らなかった。これは来年度へ課題をととなった。

当協会の年間最大イベントである「ひろしまグリーンリボンフェス」は、CLiP HIROSHIMAの協力もあり、観客を前年の2割程度の30人とし、スタッフを含め60人体制で名称も「ひろしまグリーンリボンミュージックライブ2020」として開催した。初めての試みとしてYouTubeでライブ配信し、終了後も閲覧できる様にした。その結果閲覧数は当日3百回を超え、その後3ヶ月間で千回を超えた。WEB配信をより多くの人に観てもらえ、今後の新しい臓器移植普及啓発活動のあり方が示された。

令和元年度は行えなかったが臓器移植に関わる問題について厚生労働大臣宛に要望書を臓器移植に関連する患者団体5団体と協力し提出し、厚生労働省移植医療対策推進室を始め担当部署と折衝し、回答を得た。

令和2年度は、コロナ禍にあり、例年通りの活動は非常に難しかったが、その中で新たに取り組んだWEB配信により大きな成果上げることができた。まだ当協会の知名度は、臓器移植に関わる団体、個人の間でも低く、また人材や資金が不足する状況は続いている。しかし臓器移植の普及啓発活動を行う数少ない市民ボランティア団体として、当協会の役割はこれからも重要である。当協会の活動に賛同し協力、支援する団体や市民も少しずつ増加しており、今後もそれぞれの事業をレベルアップし、活動し続けなければならない。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

1. 事業名：移植医療に関する正しい知識の普及啓発事業

①移植医療定期勉強会「みんなで学ぼうグリーンリボン」開催事業
新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。

②メディアワークショップ

・内容：臓器移植法改正から10年を迎え、若干であるがメディアが臓器移植を取り上げる回数が増加したが、正しい情報及び問題点を提供することは重要と考え引き続きメディアワークショップを開催した。

新型コロナウイルス感染拡大が危惧されていたため東京、大阪の合同メディアワークショップとしてWEB会議で開催した。これからも常にメディアに対して臓器移植に関する情報を発信し続ける必要がある。

講師には、厚生労働省移植医療対策推進室室長補佐吉屋匠平氏、国立循環器病センター移植医療部福嶋教偉部長と心臓移植者をお願いした。

- ・実施場所：国立研究開発法人国立循環器病研究センター
- ・実施日時：令和2年8月26日（水）
- ・事業対象者：メディア関係者（参加者17名）、その他10名
- ・収 益： 0円
- ・費 用：2,400円
内 訳：旅費交通費2,400円

③インターネットを通じた情報発信事業

・内 容：社会からみた当協会の顔として、ホームページは重要であり、情報を順次更新し、当協会の

活動を動画等を使い、分かりやすく掲載した。更新にあたっては、若い世代の会員が行い、フェイスブックの当協会ページも強化した。イベントの情報発信やグリーンリボン活動への理解をホームページを通じて行った。平成3年度には大幅なりニューアルを予定している。

- ・実施場所：事務局
- ・実施日時：令和2年4月～令和3年3月
- ・事業対象者：一般及び臓器移植の関係者
- ・収 益： 0円
- ・費 用：11,580円
内 訳：プロバイダー費 11,580円

2. 事業名：移植医療の普及啓発のためのセミナー、イベント等の企画、開催事業

①グリーンリボンキャンペーン開催事業

・内 容：今回で4回目となる広島でのグリーンリボンキャンペーン事業は、コロナ禍での開催をい

かにするかを実行委員会で議論を重ね、また会場のCLiP HIROSHIMAとも充分相談した結果、感染予防対策を充分取った上で開催することにした。

グリーンリボンアート展は、10月7日（水）14時より会場設営を開始し「移植を受けた子どもたちの作品展」を展示した。展示期間中は来場者に運営スタッフが活動内容、アート展示や臓器移植について丁寧に説明することができた。10月16日（金）まで開催した。

10月17日（土）のグリーンリボン音楽ライブは、当日の来場者は、定員30名の完全

予約制とし、広島県のガイドラインを遵守し、また会場であるCLiP HIROSHIMAのガイドラインのもとスタッフも含め人数制限を行った。さらに、会場入り口での検温、来場者名簿の記入、手指消毒を行った上で入場して頂いた。

グリーンリボンミュージックライブは15時にスタートしYouTubeでも同時にライブ配信をスタートした。

司会は広島修道大学の学生が務めた。アナウンスによる協賛団体様の紹介を行い、実行委員長の挨拶ののち、出演アーティストの皆様による音楽ライブがスタートした。グリーンリボンキャンペーンに賛同し、広島を中心に活動されているアーティストの皆さんによる素晴らしい歌声とパフォーマンスでミュージックライブが盛り上がった。また、移植医療や命のこと、それぞれが大切にすることなどをお話して頂いた。幕間には、祇園北高校書道部による書道パフォーマンスを行い、部員の皆さんが一丸となって大きな半紙にこのイベントに対する想いを書いた。大きな掛け声と力強い筆が走り、堂々たるパフォーマンスが会場を盛り上げた。

また心臓移植者のインタビュー動画放送し、移植を受け、元気になった身体で走ることができた時の喜びが忘れられないと語られ、またドナーの方への感謝の気持ちもいつも持っていること述べられた。移植を受けた人の実体験を聞くことで、移植医療を身近なものとして考えてもらえたら幸いである。

フィナーレは当協会のテーマソングである「Life is colorful」をアーティストの皆さん全員が歌い、来場者の皆さんも手を振ってこたえた。会場、そしてライブ配信視聴者全体で繋がり、移植医療について考えるきっかけとなってほしいと思いを込めたパフォーマンスとなった。

- ・実施場所：CLiP HIROSHIMA（広島市中区）、
- ・実施日時：令和元年10月7日（水）～17日（土）
- ・事業対象者：一般（当日参加者30名）
- ・視聴数：当日330回、2020年12月末迄1200回
- ・後援：厚生労働省、広島県、広島市、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク、公益財団法人ひろしまドナーバンク、NPO法人広島県腎友会
- ・協力：CLiP HIROSHIMA、広島県立祇園北高等学校、呉港高等学校、武田高等学校、飛鳥未来高等学校広島キャンパス
- ・収益：0円
- ・寄附：221,052円
- ・費用：275,547円
- 内訳：会議費25,800円、旅費交通費93,980円、通信運搬費12,964円、消耗品費6,713円、印刷製本費5,890円、広報啓発費15,400円、会場設営費64,800円、委託費50,000円、

②臓器移植推進グリーンリボンパレード事業

- ・内容：グリーンリボンパレードは、3密が避けられないとして、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。

3. その他本会の目的を達成するために必要な事業

① 厚生労働省大臣に対する要望事業

- ・内容：臓器移植に関連する患者団体5団体と協力し臓器移植に関わる問題について厚生労働大

臣宛に要望書を提出し、厚生労働省移植医療対策推進室を始め担当部署と折衝し、回答を

得た。終了後厚生労働記者会において記者会見を行った。

- ・実施場所：厚生労働省共用第3会議室（東京都千代田区）
- ・実施日時：令和2年11月25日（水）
- ・参加団体：一般社団法人全国腎臓病協議会、一般社団法人心臓病の子どもを守る会
特定非営利活動法人日本移植者協議会、胆道閉鎖症の子どもを守る会
ニューハートクラブ（当協会を除く）

4. 事業対象者：厚生労働大臣及び厚生労働省関係部署
5. 収 益： 0円
6. 費 用：22,860円
内 訳：旅費交通費22,860円

2 その他の事業

実施しなかった。

IV 社員総会の開催状況

定時社員総会

日 時：令和2年6月21日（日）14時30分から16時30分まで
場 所：国立研究開発法人国立循環器病研究センター

大阪府吹田市岸部新町6番1号 電話：06-6170-1070（代）

WEB会議

社員総数：15名

出席者数：11名（うち委任状出席者数2名）

内 容：第1号議案 令和元年度事業報告書承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 令和元年度活動計算書の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第3号議案 令和2年度事業計画書承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第4号議案 令和2年度活動予算書承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第5号議案 議事録署名人の選任の件

審議の結果、全員一致で可決承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第一回理事会

日 時：令和2年4月4日（土）15時から17時まで
内 容：第1号議案 令和2年度事業計画書承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 令和2年度活動予算書承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第3号議案 令和元年度事業報告書仮承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第4号議案 令和元年度活動決算書仮承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第5号議案 議事録署名人の選任の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第2回理事会

日 時：令和3年3月27日（土）12時から13時まで
内 容：第1号議案 令和2年度事業報告書承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 令和3年度事業計画書承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第3号議案 議事録署名人の選任の件

審議の結果、全員一致で可決承認